

8. 環境影響評価の項目

環境影響評価の項目は、図 8-1 に示す手順に従い、会場事業計画の内容を基に環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況及び社会経済情勢等を勘案して選定した。

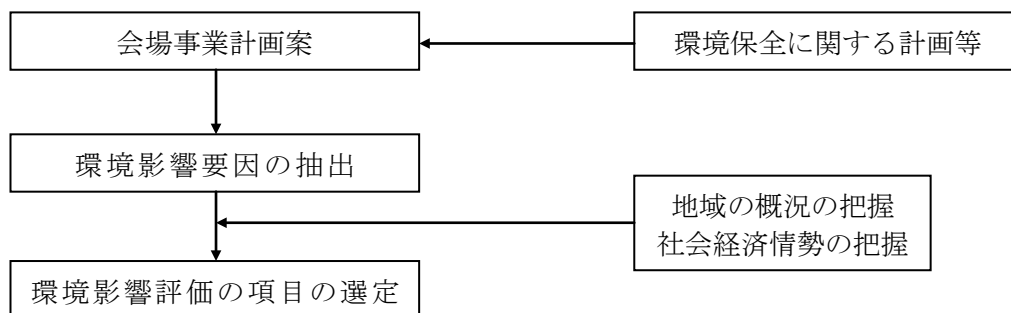


図 8-1 環境影響評価の項目の選定手順

環境影響要因は、東京 2020 大会の開催前、開催中及び開催後について、表 8-1 に示すとおり設定した。東京 2020 大会の開催に当たっては、本事業で整備する施設のほかに、計画地及びその周辺に大会関連用の仮設工作物の設置を行う予定であるが、現時点ではこれらの仮設工作物の諸元が未定である。また、東京 2020 大会の開催中における大会の運営等についても、現時点では具体的な計画が未定である。このため、本評価書では、表 8-1 に示す環境影響要因のうち、計画の具体性の高い環境影響要因を対象とすることとし、仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響要因は対象としなかった。これらの仮設工作物や大会の開催中に係る環境影響評価は、今後の計画の熟度に応じて、改めて環境影響要因の抽出及び環境影響評価の項目を検討し、別途実施する予定である。なお、第 2 期工事については、東京 2020 大会を目的としたものではなく、日本中央競馬会が独自に実施する事業であるため、オリンピック・パラリンピック実施段階環境影響評価は、第 1 期工事で整備する事業を対象としているが、日影と景観については、第 1 期工事と第 2 期工事で影響を分けられないことから、第 2 期工事で整備する建築物も含め対象としている。

表 8-1 抽出した環境影響要因

区分	環境影響要因		内容
開催前	恒設施設	施設の建設	掘削工事、躯体工事等に伴う影響
		工事用車両の走行	建設工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
		建設機械の稼働	建設工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響
		建築物の出現	建設工事終了後の建築物の出現や建築物の存在に伴う影響
	仮設工作物	施設の建設	掘削工事、躯体工事等に伴う影響
		工事用車両の走行	建設工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
開催中	競技の実施	大会の運営	大会開催中の関係車両の発生集中交通、会場設備等の稼働、その他大会の運営に伴う影響
		大会の運営	大会開催中の関係車両の発生集中交通、会場設備等の稼働、その他大会の運営に伴う影響
	仮設工作物	解体工事	東京 2020 大会の仮設工作物の解体工事に伴う影響
		工事用車両の走行	解体工事のうち、工事用車両の走行に伴う影響
建設機械の稼働		解体工事のうち、建設機械の稼働に伴う影響	
恒設施設	設備等の持続的稼働	東京 2020 大会後の施設の継続的利用に伴う影響	

注) 網掛けは、本評価書では対象としない環境影響要因を示す。

選定した環境影響評価の項目は、表 8-2 (1) 及び (2) に、選定した理由は、表 8-3 に、選定しなかった理由は、表 8-4 (1) 及び (2) に示すとおりである。

表 8-2(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目		予測事項	区分		開催前		開催中		開催後						
			環境影響要因		施設の建設(仮設除く)	工事用車両の走行(仮設除く)	建設機械の稼働(仮設除く)	建築物の出現(仮設除く)	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○			
			・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度												
	・ アスリートへの影響の程度														
	土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度		○									○		
		・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無													
		・ 汚染土壌の量													
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物・生態系の賦存地の改変の程度		○									○	
			・ 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度		○									○	
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度												
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度		○										○
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度		○										○
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度												
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度		○										○
			・ 生態系の変化の内容及びその程度		○										○
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度														
	・ アスリートへの生物等の影響の程度														
	生活環境	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度		○									○	
騒音・振動			・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動			○							○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動							○					
			・ 建設機械等の騒音及び振動				○							○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動												
	・ 競技実施に伴う騒音及び振動						○								
日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												○		
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												○		
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												○		
アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												○	
		・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度													
		・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度													
		・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度													
		・ 圧迫感の変化の程度													
		・ 緑視率の変化の程度													○
		・ 景観阻害要因の変化の程度													○
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度		○									○		
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○								○	○	
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○								○		○	

注1) ○は、環境影響評価を行う事項を示す。

2) 濃い網掛け (■) は、東京2020大会全体としての広域的な視点により評価する事項、または、今後競技を対象とした環境影響評価の際に検討を行う事項であるため、本書では対象としないことを示す。

3) 薄い網掛け (□) は、具体的な計画が未定であり、今後の計画の熟度に応じて別途検討を行うため、本書では対象としない事項を示す。なお、薄い網掛けにおける○は、調査計画書において選定した事項を示す。

4) 赤枠内は、本書で検討を行うことを示す。

表 8-2(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目		環境影響要因 予測事項	区分			開催前		開催中		開催後		
			施設の建設(仮設除く)	工事用車両の走行(仮設除く)	建設機械の稼働(仮設除く)	建築物の出現(仮設除く)	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度					○				○
			・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				○
	史跡・文化財		・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度									
			・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度									
			・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度									
			・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○			
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○		
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○						○		
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○			
エネルギー		・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度									
			・ 未利用地の解消の有無及びその程度									
	地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
	移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度									
	環境への意識		・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度									
			・ 意識啓発のための機会の増減									
安全・衛生・安心	安全		・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度					○				○
			・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度					○				○
			・ 電力供給の安定度					○				○
	衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
消防・防災		・ 耐震性の程度						○				
		・ 津波対策の程度						○				
		・ 防火性の程度						○			○	
交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○						○		
	公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度						○				
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○		
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注1) ○は、環境影響評価を行う事項を示す。
 2) 濃い網掛け(●)は、東京2020大会全体としての広域的な視点により評価する事項、または、今後競技を対象とした環境影響評価の際に検討を行う事項であるため、本書では対象としないことを示す。
 3) 薄い網掛け(○)は、具体的な計画が未定であり、今後の計画の熟度に応じて別途検討を行うため、本書では対象としない事項を示す。なお、薄い網掛けにおける○は、調査計画書において選定した事項を示す。
 4) 赤枠内は、本書で検討を行うことを示す。

表8-3 選定した項目及びその理由

項目	選定した理由
土壌	<p>土壌に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催後における施設の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「土壌汚染物質の変化の程度」とする。</p> <p>なお、開催前の施設の建設に伴う土壌は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。また、「地下水及び大気への影響の可能性の有無」及び「汚染土壌の量」は、現時点では工事に伴う汚染土壌の状況が不明なため、フォローアップ報告書において汚染土壌の量、地下水及び大気への影響の可能性の有無を明らかにする。</p>
日影	<p>日影が生じるおそれのある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物」とする。</p>
景観	<p>景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「緑視率の変化の程度」とする。</p> <p>なお、「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は、計画地が景観形成特別地区に指定されていないこと、「圧迫感の変化の程度」は、建築物の最高高さが約 18m 程度であり大規模な建築物の新設は行わないこと、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」は、計画地内に貴重な景勝地が存在しないこと、「景観阻害要因の変化の程度」は、計画地内に景観を阻害する工作物等が存在しないことから、予測事項としない。</p>
歩行者空間の快適性	<p>歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。</p> <p>予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。</p>
水利用	<p>水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。</p>
廃棄物	<p>廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。</p> <p>なお、開催前における施設の建設に伴う廃棄物は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。</p>
温室効果ガス	<p>温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。</p>
エネルギー	<p>多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。</p>
安全	<p>安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。</p>
消防・防災	<p>消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。</p> <p>予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。</p>

表 8-4(1) 選定しなかった項目及びその理由

項目	選定しなかった理由
大気等	開催前における工事車両の走行、建設機械の稼働に伴う大気等は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。 なお、施工計画の変更に伴い、工事車両台数のピーク月及び大型車・小型車の台数に変更が生じるが、ピーク日における総台数は変わらない。また、建設機械の稼働台数・時期に変更が生じるが、建設機械の稼働に伴う大気汚染物質総排出量の増加分は僅かであり、評価の結論は変わらないことから、予測・評価の見直しは行わない（資料編 p.1 参照）。
水質等	施設の建設及び運営に伴う排水は、下水排除基準を遵守した上で公共下水道に放流される。このことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働に伴う生物の生育・生息基盤は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
水循環	計画建築物は、地下水流動に影響を及ぼすような地下構造物は設置しない。また、世田谷区雨水流出抑制施設の設置に関する指導要綱（平成 22 年 22 世土計第 204 号）に則り雨水浸透対策を実施するため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。 なお、施設の改修整備に伴い既設井戸の移設を予定しているが、施設全体としての揚水量は現状と同等程度であり、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく揚水量の規制基準内とすること、現状において計画地周辺での地盤変動量はほとんどみられないこと（調査計画書 p.64 参照）から、地下水に著しい影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働に伴う生物・生態系は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
緑	開催前における施設の建設、開催後における設備等の持続的稼働に伴う緑は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
騒音・振動	開催前における工事車両の走行、建設機械の稼働に伴う騒音・振動は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。 なお、施工計画の変更に伴い、工事車両台数のピーク月及び大型車・小型車の台数に変更が生じるが、ピーク日における総台数は変わらない。また、建設機械の稼働台数・時期に変更が生じるが、建設機械の稼働に伴う騒音レベル合成値及び振動レベル合成値の最大値に変更はなく、評価の結論は変わらないことから、予測・評価の見直しは行わない（資料編 p.1 参照）。
自然との触れ合い活動の場	開催前における施設の建設、工事車両の走行、建設機械の稼働、開催後における設備等の持続的稼働に伴う自然との触れ合い活動の場は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
史跡・文化財	計画地内に史跡・文化財及び既知の埋蔵文化財包蔵地は存在しない。 なお、工事の実施に伴い新たに史跡・文化財が確認された場合には、フォローアップ報告書において明らかにする。
エコマテリアル	開催前における施設の建設に伴うエコマテリアルは、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
土地利用	計画地は、従前の馬事公苑と同一の敷地であり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	計画地は、従前の馬事公苑と同一の敷地であり、新たな地域分断は生じない。
移転	計画地は、従前の馬事公苑と同一の敷地であり、移転は生じない。

表 8-4(2) 選定しなかった項目及びその理由

項目	選定しなかった理由
スポーツ活動	東京 2020 大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
文化活動	東京 2020 大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	東京 2020 大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	東京 2020 大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	東京 2020 大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
衛生	東京 2020 大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前における工事用車両の走行に伴う交通渋滞は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
公共交通へのアクセシビリティ	計画地は、従前の馬事公苑内に位置しており、工事中は閉苑となるため一般利用者は来苑しない。
交通安全	開催前における工事用車両の走行に伴う交通安全は、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書（馬事公苑）」（平成 28 年 12 月 東京都）として環境影響評価を実施済みであり、本書では対象としない。
経済波及	東京 2020 大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
雇用	東京 2020 大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等ごとに予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	東京 2020 大会の実施による事業採算性については、全体計画の環境影響評価の中で個々の会場ごとに評価する。